

製品案内および標準施工手順ガイド



自然土舗装材「スタボン」

NETIS 登録番号 CB-990076

〒590-0021 大阪府堺市堺区北三国ヶ丘町8丁目7番7号



TEL 072-232-6060
FAX 072-232-6008

雑草繁茂抑制工法・自然土舗装材 「スタボン」商品説明

☆特徴

- 1 「スタボン」は、自然土の感覚で、優れた浸透・保水性に加え**雑草の繁茂を抑制する商品**です。
- 2 スタボンは、主原料の真砂土を絶乾状態にし、専用の固化剤・防塵材を一定の割合で混練した、**防草対策用自然土舗装材**です。
また、**飛散防止の防塵材を混練**することにより、住宅地や人の密集しているような場所でも安全に取り扱うことができ、また作業員の施工中の安全を確保します。
- 3 従来のアスファルトやモルタルなどの防草対策に比べ、自然土を使用するため、景観に優れ周辺環境との調和がとれます。
また、防草シート工などで見かけられるシートの捲れはありませんので施工後のメンテナンスが軽減できます。
- 4 「スタボン」は、施工現場を完全抜根・整地し、「スタボン」を敷き均し、表面を整え、一次・二次散水で硬化し、固化したスタボンからは雑草の抑制が図られます。なお「スタボン」には、浸透・保水性が有りますので、**施工後の炎天下の照り返しも緩和され、ヒートアイランド現象の抑止にも役立ち、歩行感もソフトに感じます。**
- 5 「スタボン」は、基本的には、敷き均し後、散水すれば固化しますので、特殊な施工技術は必要ありません。また、重機等の持込めない現場環境でも、散水用の水が確保出来れば、施工は可能です。
- 6 公園の園路・遊具周り、遊歩道、墓苑の歩道、中央分離帯、植栽帯、玄関のアプローチ、ビオトープ内遊歩道、などの防草対策ならびに夏場の炎天下での照り返し防止等、様々なフィールドでご利用いただけます。
- 7 特許等 国土交通省 重点分野新技術「NETIS」 CB990076
日本道路公団 新技術整理番号 200100110

☆ 品質試験結果表(品質管理試験)

試験項目	試験方法	単位	結果
六価クロム化合物	JIS K0102 65.2.4	mg/L	0.01未満
圧縮強度	JIS R 5201	N/mm ²	3.75(7d) 5.88(28d)
曲げ強度	JIS R 5201	N/mm ²	1.32(7d) 2.16(28d)
密度(嵩比重)	JIS A 1110	g/cm ³	2.053
吸水率	JIS A 1110	%	18.8
浸透係数	JIS A 1218	cm/s	5.87E-05

スタボン標準施工手順

- 1 事前施工・・・施工箇所の草木の除去・抜根・整地
下層路盤の転圧(転圧不足だとクラックの原因になる)
路盤厚は10cm程度とする
- 2 敷き並べ・・・施工箇所に材料を敷き並べる。
- 3 敷き均し・・・材料を袋から出し、トンボ・コテ等で施工厚を確認しながら敷き均す。(不陸の確認)
- 4 一次転圧・・・転圧ローラーにて、2往復程度転圧をかける。
※ローラー(30kg程度)で転圧すると仕上がりが及び強度がアップします。
- 5 整形・・・ホウキ・刷毛等の比較的柔らかな物で表面をなでるように整える。
- 6 一次散水・・・不陸が無い事を確認し、一次散水(材料重量比10%程度)
(※散水は必ず霧状で行う。一部掘り起こして4/5程度まで浸透しているか確認する。)
一度に施工厚まで大量に散水すると、材料が流出してしまう。
- 7 二次転圧・・・一次散水後20分程度経ってから一次転圧同様に転圧をかける。端部もしっかりと転圧する。
- 8 養生散水・・・一次散水後、約1.5～2時間後、表面がかさぶた状態に硬くなったのを確認後、**施工厚までタツプリと散水する。**
- 9 養生・・・完全固化まで(約5～7日程度)歩行者、動物等の立入に注意し、表面を養生する。2～3日は散水養生すると良い。
- 10 完成

注記: 一次散水(表面)後表面が硬くなってから1～2時間後に二次散水を行っていたが、この方法でもしっかり散水すれば問題ない。しかし散水が少なく表面層の浅い所までしか水分が届かず、表層が相当硬くなってから二次散水を行うと表面層と下層とに境目ができ、表面剥離の原因となるため、一次散水で水が下層まで届くようにしています。

スタボン施工参考手順

* 事前施工(必要に応じて)

- a, 施工区域内の草木の除去及び抜根
⇒とりわけ、竹や笹などの地下茎植物類の根を取り除いてください。
- b, 施工区域内の不陸の整正や軟弱地盤の補強
⇒クラック発生の原因となります。

①施工区域に製品を並べる



②製品の敷均し

②-1 同左



③道具等を使用して敷均す

③-1 同左



④転圧・表面仕上げ



④-1 同 左



⑤一次散水(重量比10%を目安に散水)



⑤-2 養生散水(施工厚までタップリ散水)



⑥完成



⑥-2 同 左



施工上の注意

- 1, ひび割れの原因になりますので路盤の転圧は確実に行ってください。
- 2, 表面をホウキ等で整形してください。
- 3, 散水不足により硬化不良・剥離の原因となります。1次散水は施工厚の4/5程度までしっかりと散水して下さい。
- 4, 二次散水は施工厚まで浸透するようにタップリ散水してください。
- 5, 散水は材料が流出しないよう、ジョーロやバケツは使用せず動噴等で霧状に散水してください。